

きくち夏まつり

若龍誕生祭



とき 8月4日(土)
午後5時～

ところ 熊本県北広域本部
特設会場(市民広場そば)

内容
◆白龍・若龍・子白龍神輿の演出
◆ステージイベント
◆3千発の花火大会
◆七夕飾り・出店

第2回

菊池一族と 延寿鍛冶展

3月31日から5月6日にかけて開催された「第2回菊池一族と延寿鍛冶展」では、全国から約3200人が来場し、菊池一族と延寿の歴史に触れました。

▲重要刀剣太刀「延寿国吉」

▶延寿官勝作の十文字槍。

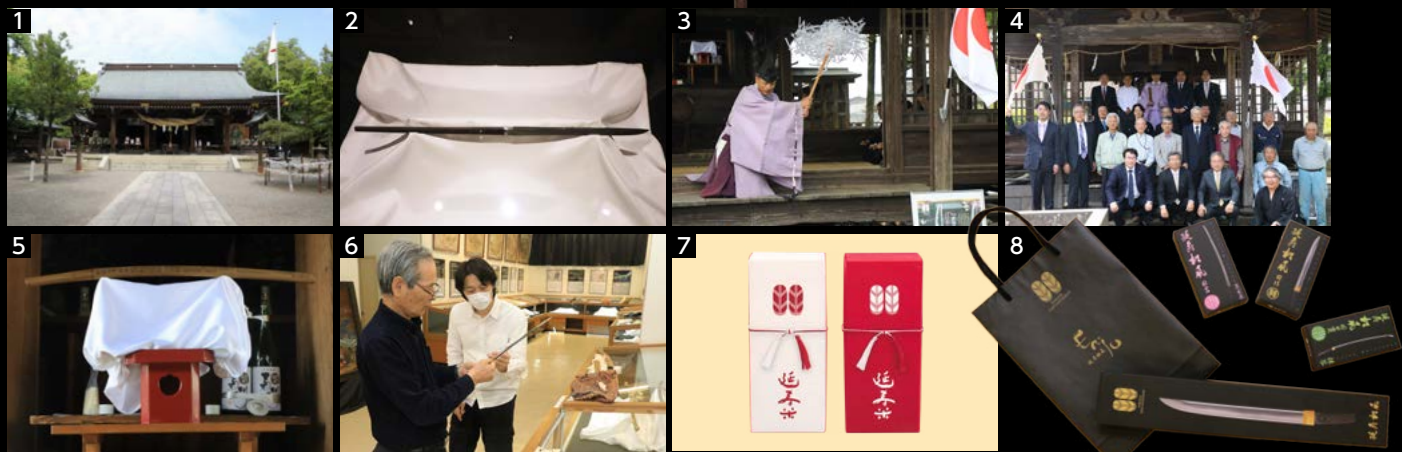
▲重要刀剣 脇指『長曾祢興里入道帛徹』

▲特別保存刀剣 短刀『村正』

▲重要刀剣 刀『小山左馬之介』(同田貫)
銘により菊池今村木下で同田貫が作られていたことが分かる。

▲熊本県指定有形文化財指定第一号 短刀『延寿国時』

1_会場は菊池神社内の歴史館 2_妖しく光る名刀の数々 3_4月30日には菊池八坂神社で「延寿太郎國村」の里帰り神事が行われた 4_実行委員会や地元住民、関係者ら約30人が神事に参加 5_奉納される「延寿太郎國村」 6_「これまできれいに保存されてきたのは、刀を受け継いできた人たちの欠かさぬ手入れがあってこそ」 7・8_会場では延寿鍛冶展とのコラボ商品も販売



菊池一族を支えた「二族の魂」延寿刀

昨年夢美術館で開催し大好評だった「菊池一族と延寿鍛冶展」。今年は場所を菊池神社歴史館に移して開催しました。刀剣を通じて多くの人に菊池一族の文化と歴史に触れてもらおうと、菊池観光協会と菊池一族まつり実行委員会が主催。西郷隆盛と菊池一族の繋がりも紹介しました。

延寿鍛冶は、平安から南北朝時代にかけて菊池を中心に栄えた菊池一族のお抱え鍛冶で、数々の名刀を生み出しています。会場には延寿刀や「同田貫」のほか、幕末、尊皇攘夷派志士に愛された妖刀「村正」や「長曾祢虎(馬)徹」など、貴重な刀剣が多数展示されました。

県内からはもちろん、北海道、東京、大阪、鹿児島など全国各地から多くのファンが菊池を訪れました。菊池姓の人も数多く来られ、開場初日には東京の菊池さんが一番乗り。来場者は「菊池市の歴史の奥深さに感動した」「また足を運びたい」と話していました。

「感謝」そして「未来」へ

新たに若龍神輿が登場。白龍・子白龍とともに市街地を練り歩き、特設会場では勇猛な舞を見せます。商店街には地元や有志団体による七夕飾りが彩りを添え、ステージでは、多彩な出演者がパフォーマンスを繰り広げます。

祭りを締めくくる花火大会では、約3千発の花火が夜空を光り輝かせます。

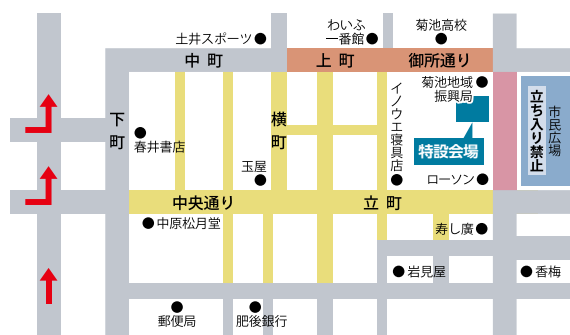
白龍担ぎ手大募集

■募集内容
「白龍担ぎ手」成人男性200人程度
※申し込み多数の場合は、お断りする場合があります。

■申し込み先
菊池白龍会事務局 ☎0968(23)1115

■問い合わせ先
商工観光課 ☎0968(25)7223

当日の交通規制(車両通行止め)と迂回路



午前10時～午後11時
午後4時30分～6時30分
午後7時～9時30分

迂回路
製薬尾方面から玉祥寺、前田橋への迂回をお願いします。

会場周辺は混雑が予想されます。できる限り公共交通機関でのご来場をお願いします。